

トーキョーワンダーサイト事業

トーキョーワンダーサイト本郷（TWS本郷）

1 EASP（マーキング・アーティスト・スペース・プログラム）

EASPは、トーキョーワンダーウォールの次のステップとして、トーキョーワンダーウォール入賞作家から毎年約10～20名のアーティストを選出し、作品発表の機会を提供し、自作品のプレゼンテーションの方法や観客とのコミュニケーションなどを、実地で学んでもらうことを目的としている。平成18年度は11名の若手作家がこのプログラムに参加した。

- ・ 主催：トーキョーワンダーサイト

（1）マーキング・アーティスト・スペース・プログラム 2006 vol.1

- ・ アーティスト： 中矢篤志、山本拳志、下出和美
- ・ 期間： 平成18年4月1日～4月23日
- ・ 観覧者数：268人
- ・ 関連事業：アーティストトーク 4月1日 ゲスト：名古屋覚

（2）マーキング・アーティスト・スペース・プログラム 2006 vol.2

- ・ アーティスト： 近藤恵介、奈良エナミ、MAYU
- ・ 期間： 平成18年7月8日～7月30日
- ・ 観覧者数：455人
- ・ 関連事業：アーティストトーク 7月8日 ゲスト：名古屋覚

（3）マーキング・アーティスト・スペース・プログラム 2006 vol.3

- ・ アーティスト： マギー、林俊作
- ・ 期間： 平成18年8月5日～8月27日
- ・ 観覧者数：328人
- ・ 関連事業：アーティストトーク 8月5日 ゲスト：名古屋覚

（4）マーキング・アーティスト・スペース・プログラム 2006 vol.4

- ・ アーティスト： 阿部史、越ちひろ、麻生和子
- ・ 期間： 平成18年9月9日～10月20日
- ・ 観覧者数：557人
- ・ 関連事業：アーティストトーク 9月9日 ゲスト：名古屋覚

2 INDEX#2 -Life Styles-展

- ・ 期間： 平成18年5月3日～5月21日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト/京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科
art project room ARTZONE

- ・ 企画： 市原研太郎（キュレーター、美術評論家）
- ・ アーティスト： 若林ちひろ、泉卓志、石川恭子、有佐祐樹、唐津哲哉、秋山幸、山田真歩、榎倉冴香、坪田千佳、アーカイ美味んぐ
- ・ 観覧者数： 330人
- ・ 内容：
美術評論家の市原研太郎が、関東・関西の美術大学在学中、または卒業して間もない若手作家10人を選抜して行われた展覧会。京都展を京都造形芸術大学の運営するアートスペースARTZONEで、東京展をトーキョーワンダーサイトで行った。また、設営も京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科の学生たちが立ち会い、アートマネジメントの現場に立ち会う経験を積むなど有意義な成果を得た。
- ・ 巡回展： art project room ARTZONE（平成18年4月8日～4月25日）

3 EASP（イマジナリ・アーティスト・スペース・プログラム）

（1）ゲスト・キュレーション・プログラム

- ・ 展覧会名： Lab Motion
- ・ 期間： 平成19年2月10日～3月21日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、LabMotion展実行委員会
- ・ 協力： Hara Art Office、VOID Chicken、Tokyo Art Beat、大阪電機通信大学総合情報学部デジタルアートアニメーション学科
- ・ 企画： 原久子、坂口千秋（キュレーター）
- ・ アーティスト： エキソモ、TOCHKA、アシタト
- ・ 観覧者数： 1,237人
- ・ 内容：
アートプロデューサーの原久子とライターの坂口千秋の二名のゲスト・キュレーターによるトーキョーワンダーウォール(TWW)の公募以外のセレクションによる若手作家展。参加アーティストはテクノロジーを駆使しメディアアートやインタラクティブアートと呼べる作品を多数制作しており、TWS本郷では今まで無かった趣向の展覧会となった。また、できあがった作品を展示するだけでなく、展示室をスタジオ兼展覧会場として使用し、日々変化していく展示となった。
- ・ 関連事業
 - ・ ベンディング・ワークショップ by エキソモ（平成19年2月12日）
 - ・ バレンタインデー オープニング・パーティ（平成19年2月14日）
 - ・ 公開ドローイング トーチカ、Kozydanほか（平成19年2月21日、22日）
 - ・ PIKA PIKA ワークショップ by トーチカ（平成19年2月25日）

（2）公募企画

アーティストとともに展覧会を創ってゆく企画者に対する支援育成を目的として、若手（平成19年3月31日時点で35歳以下を対象）による展覧会企画を募集。展覧会企画者への支援育成は少なく、アート界全体を活性化していくためには企画者の育成は欠かせず、本企画の意義が高い評価を得た。4名の審査員による選考（1次：書類審査、2次：面接）を経て、岩井優氏と黄姍姍氏による企画が選出された。この2企画に推薦枠の企画を合わせた合計3企画がTWS本郷にて行われ、開催ま

での過程をトーキョーワンダーサイトがサポートした。

- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 審査員： 小崎哲哉（『REALTOKYO』『ART iT』発行人兼編集長）
住友文彦（東京都現代美術館 学芸員）
太郎千恵藏（美術家、多摩美術大学講師）
家村佳代子（トーキョーワンダーサイト プログラム・ディレクター）

推薦枠 「Video Art from London」

ロンドン在住のイタリア人若手キュレーターによるロンドン若手ビデオアート展。様々な国籍のロンドン在住アーティストが、ロンドンの文化の多様性の今を伝える。

- ・ 期間： 平成19年3月28日～4月22日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、Video Art from London実行委員会
- ・ 企画： ハコ・プロテガー、大竹かおり、谷川公朗（キュレーター）
- ・ アーティスト： アルソップ・アンド・ウィア、カシ・ルトマン、ペルトラン・オブロン、マラ・エル＝シエルビニ、リチャード・T・ウォーカー
- ・ 観覧料： 無料
- ・ 観覧者数： 241人 3月31日までの観覧者数
- ・ 関連事業： キュレーター・パオロ・プロテガーによるトーク（平成19年4月21日）

入選企画1 「Double Cast」

You Tubeを使い、様々なトークやイベントを編集し、流すことで今までの時間、空間のあり様を越えた新しいアートを提案した。

- ・ 期間： 平成19年3月28日～4月22日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 企画・運営： Survivart（サバイバート）
- ・ 協力： 文京区文京清掃事務所、MUSEUM OF TRAVEL
- ・ アーティスト： 岩井優、田口行弘
- ・ 観覧料： 無料
- ・ 観覧者数： 241人 3月31日までの観覧者数
- ・ 関連事業：
 - ・ トークイベントVol.1「ネットワークから考える」
 - ・ 開催日： 平成19年3月31日
 - ・ ゲスト： 椿昇（アーティスト）、ドミニク・チェン（日本学術振興会外国人特別研究員）

入選企画2 「華・非・華」

企画の黄姍姍氏は、台湾から日本の東京大学の留学生であり、そのポジションをいかし、台湾と日本のアーティスト二人のペインティングによる展覧会を行った。今後、この展覧会を台北市でも行う予定。

- ・ 期間： 平成19年3月28日～4月22日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 協力： 駐日台北経済文化代表処、台湾観光協会、徳鴻画廊

- ・ 会場構成協力：KENZOパルファム
- ・ 企画： 黄姍姍
- ・ アーティスト： 呉詠潔、森本太郎
- ・ 観覧料： 無料
- ・ 観覧者数：241人 3月31日までの観覧者数
- ・ 関連事業：アーティストによる作品のライドトーク（平成19年3月31日）

4 若手音楽家支援プログラム

(1) シュテファン・フッソング アコーディオンワークショップ

- ・ 開催日： 平成18年6月10日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、同時代音楽塾
- ・ 協力： 原田敬子（作曲家）
- ・ 後援： NPO法人 日本アコーディオン協会
- ・ 観覧料： 一般3,000円、学生2,000円
- ・ 観覧者数：36人
- ・ 内容：

同時代音楽塾は設立以来、若い音楽家と共に同時代の音楽を創造することを目的に、特に楽器法のワークショップに力を入れて企画を行ってきた。17年度は、日本では学ぶ機会の少ない楽器の一つであるアコーディオンに焦点をあて、トーキョーワンダーサイトで二回のワークショップを開催、楽曲の記譜法の若手作曲家による断片作品の演奏、作品完成へ向けてのアドバイス及び、作曲家とのトークなどを行ってきた。今回のコンサートはその成果として、楽曲を公募し、その作品発表と共に、入選作曲家のトークも行った。

(2) デニス・パトコビッチ アコーディオンリサイタル - Bach=Tiensuu プロジェクト - Goldberg Refill ゴールドベルグ 再び満ちて

- ・ 開催日： 平成18年6月11日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 協力： 原田敬子（作曲家）
- ・ 後援： NPO法人 日本アコーディオン協会
- ・ 助成： LUSES財団（フィンランド）
- ・ 観覧料： 一般2,000円、学生1,500円
- ・ 観覧者数：18人
- ・ 内容：

アコーディオンは様々な可能性を秘めている楽器だが、現在日本の音楽大学には専門の科がなく、ほとんど学べない環境にある。学ぶ機会がないために新しく曲を創作することも非常に困難であることから、今企画では若手音楽家支援のプログラムの一環としてもっとも若い世代のアコーディオン奏者、デニス・パトコヴィチ（1980-ドイツ）をフィンランドLUSES財団の助成を得て招き、コンサートを開催した。パトコヴィチ氏は2005年夏、東京での国際コンクールに上位で入賞しており、フィンランドを代表するユッカ・ティエンス氏に作曲委嘱、「Erz（ゴールドベルグ変奏曲に関連した新作）」を世界初演。同時にアコーディオンの演奏するには最も難曲なバッハの「ゴ

ールドベルグ変奏曲（BWV988）」を演奏。

(3) On Site Labo: EASP music 2006 Weekend Special in Winter -21 世紀を担う新鋭たちの響き-

- ・ 開催日： 平成 19 年 1 月 26 日～1 月 28 日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 後援： 社団法人日本作曲家協議会
- ・ 助成： 財団法人朝日新聞文化財団
- ・ 選考委員：沼野雄二、大宅裕、原田敬子、家村佳代子
- ・ 企画入選者：
太田真紀、大石将紀、竹ノ内博昭、菊地奈緒子、真鍋尚之、吉川真澄、佐藤佳子、大宅さおり
- ・ トークゲスト： 平野公崇、原田敬子、吉村七重、沼野雄司、一柳慧、大澤建
- ・ 観覧者数：405 人
- ・ 内容：
若手音楽家支援プログラムは、平成 16 年度より実施している若く才能豊かな音楽家の発掘と育成を目的とした支援プログラムである。今回は国内外を対象に企画公募を実施した。若手音楽家を支援する同種の企画は国内にも多いが、単に経済的な援助が多い。本企画は、表現者が企画から運営までを行うことで、総合的な立場で物事を考え、組み立て実行することを経験することを目的としており、トーキョーワンダーサイトはそのサポートを行う。6 名の入選者は演奏のレベルが高く、それぞれの個性が際立つ充実した公演となった。また、各回公演後に様々なゲストを招いて、第一線で活躍する作曲家、音楽学者等とコンサートの講評も含めてのアフター・コンサート・トークを行った。

・ 公演詳細

太田真紀無伴奏ソロ・リサイタル『声』

会期 平成 19 年 1 月 26 日 19:00 開演 18:30 開場

入場料 1,000 円

出演 太田真紀(ソプラノ)、有馬純寿(エレクトロニクス)

アフター・コンサート・トーク 大澤建

中村麗ピアノリサイタル『Independency of Sounds』

会期 平成 19 年 1 月 26 日 20:30 開演 20:00 開場

入場料 1,500 円

出演 中村麗(ピアノ)

アフター・コンサート・トーク 一柳慧

大石将紀サクソフォンリサイタル「パリ アムステルダム 東京」

会期 平成 19 年 1 月 27 日 15:00 開演 14:00 開場

入場料 1,500 円

出演 大石将紀(サクソフォン)

アフター・コンサート・トーク 平野公崇

竹ノ内博明ピアノリサイタル:Music in Person - Piano Music from Japan and England

/顔の見える音楽 - 日本とイギリスのピアノ作品

会期 平成 19 年 1 月 27 日 19:00 開演 18:30 開場

入場料 1,500 円

出演 竹ノ内博明(ピアノ)

アフター・コンサート・トーク 沼野雄司

「こえ・響き・ことば」～呼吸をたどる～

会期 平成 19 年 1 月 28 日 14:00 開演 13:30 開場

入場料 1,500 円

出演 菊地奈緒子(箏)、真鍋尚之(笙/作曲)、吉川真澄(ソプラノ)

アフター・コンサート・トーク 吉村七重

つなぐ- こころの耳

会期 平成 19 年 1 月 28 日 18:00 開演 17:30 開場

入場料 1,500 円

出演 佐藤佳子(ヴィオラ)、大宅さおり(ピアノ)

アフター・コンサート・トーク 原田敬子

5 その他

(1) Inner Geographies/ Crossing Paths: Japan through 5 Mexican Women

- ・ 期間： 平成18年6月5日～7月2日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、メキシコ大使館、メキシコ外務省
- ・ アーティスト： マリア・ホセ・デ・ラ・マコーラ、アレ・デ・ラ・プエンテ、タニア・ソロモノフ、マリアナ・アルテアガ、タティアナ・ムシ
- ・ 観覧者数：402人
- ・ 内容：

日本に所縁のある、マリア・ホセ・マコーラほか4人の若手女性メキシコ人アーティストを紹介する展覧会。過去に日本に滞在していた、或いは現在日本に滞在している彼女たちが、松尾芭蕉の俳句をはじめとして日本文化に感化され作り上げた作品を展示し、トークやレクチャー、詩の朗読、舞踊などのパフォーマンスを通して日本とメキシコの若手作家の交流を図った。
- ・ 関連事業
 - トーク
 - 開催日：平成18年6月6日
 - 出演：マリア・ホセ・デ・ラ・マコーラ、中ザワヒデキ、もとみやかをる
 - トーク
 - 開催日：平成18年6月13日
 - 出演：マリア・ホセ・デ・ラ・マコーラ
 - パフォーマンス
 - 開催日：平成18年6月14日
 - 出演：松井茂（詩人）、さかいいいしう（歌手）
 - トーク
 - 開催日：平成18年6月15日

出演：アレ・デ・ラ・プエンテ、タニア・ソロモノフ、タティアナ・ムシ

詩の朗読

開催日：平成18年6月17日

出演：田中槐、小池昌代、平田俊子、パク・キョンミ、浦川聡子、アレ・デ・ラ・プエンテ

入場料：1,500円

パネル・ディスカッション メキシコの旅「チアパスの街道」

開催日：平成18年6月23日

出演：荒木珠奈、石山志保、草野千秋

メキシコのドキュメンタリー・セッション

開催日：平成18年6月24日

入場料：1,000円

神楽歌パフォーマンス、ライブ

開催日：平成18年6月28日

出演：もとみやかをる、雫境

入場料：1,500円

レクチャー 初の外国語訳「奥の細道」

開催日：平成18年6月29日

出演：林屋栄吉

(2) 永岡大輔 AWESOMEレジデンス帰国報告展

- ・ 期間： 平成19年1月8日～1月21日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ アーティスト： 永岡大輔
- ・ 入場料： 無料
- ・ 観覧者数：134人
- ・ 内容：

TWS 青山：クリエイター・イン・レジデンスの二国間交流事業の一環としてオーストラリア、パースのAWESOME ARTS Ltd.に派遣された永岡大輔による、レジデンスの帰国報告展。現地で制作したアニメーションを展覧会という形式で発表した。

(3) 大巻伸嗣/永岡大輔 二国間交流事業 レジデンス帰国報告会

- ・ 大巻伸嗣 SSamzie レジデンス帰国報告会 平成19年1月21日
- ・ 永岡大輔 AWESOME レジデンス帰国報告会
ワークショップとトーク 平成19年1月8日
ワークショップ 平成19年1月21日

トーキョーワンダーサイト渋谷（TWS渋谷）

1 Move On Asia –Clash and Network-展

- ・ 期間： 平成18年4月29日～5月27日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 助成： 韓国文化芸術委員会、ソウル文化財団
- ・ 協力： AAF(Asian Art Forum)
- ・ 入場料： 500円
- ・ 観覧者数：383人
- ・ 内容：

アジア各国のオルタナティブ・スペースでオルタナティブに活動するキュレーターが推薦するビデオ作品を一同に会したビデオ作品展を開催。第2回となる今年度は、トーキョーワンダーサイトをはじめアジア6ヶ国12のスペースのキュレーターたちが若い映像作家21人を推薦して参加する方式で行われ、韓国での開催を皮切りに日本、中国、オーストラリア、シンガポールで巡回展示された。
- ・ 関連イベント：シンポジウム “Move on Asia 2006「衝突とネットワーク」”
平成18年4月29日
パネラー ソ・ジンソク、ユン・チェガブ、雨森真、今村有策、原久子、平松伸之
- ・ 巡回展1： remo/レモ [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]
(6月23日～6月25日、6月30日～7月2日、7月7日～7月9日)
- ・ 巡回展2：大阪電気通信大学 四條畷キャンパス コナミホール (7月6日)
- ・ 巡回展3： + Gallery (7月14日～7月16日、7月21日～7月23日)

2 国内オルタナティブ・スペース連携展覧会

- ・ 展覧会名： Readymade : Map
- ・ 期間： 平成18年6月14日～7月2日
- ・ 主催： + Gallery
- ・ 協力： トーキョーワンダーサイト
- ・ アーティスト： 秋元しのぶ、Mike Hoolboom、Christy Thompson、Rhonda Wepler、チェ・ジンギ、ハン・サンヒョク、泉孝昭、加藤万也、高橋伸行、竹田尚史、富永佳秀、平松伸之
- ・ 観覧者数：346人
- ・ 内容：

名古屋のオルタナティブスペースである+（プラス）ギャラリーとの連携展覧会。年々アートシーンの中でその重要性を高めてきている国内外のオルタナティブスペースの活動を継続的で発展的にするためのネットワーク構築事業。
- ・ 巡回展： + Gallery (平成18年9月16日～10月22日)

3 ジャナイナ・チェッペ展

- ・ 展覧会名： ジャナイナ・チェッペ展
- ・ 期間： 平成18年7月19日～8月27日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト

- ・ 協力： nichido contemporary art、Currents-Art and Music
- ・ 後援： 在日ブラジル大使館、在日イタリア大使館
- ・ 入場料： 500円
- ・ 観覧者数：1,449人
- ・ 内容：
オランダの作家ジャナイナ・チェッペによる映像インスタレーション、写真、ドローイングをまじえた展覧会。「Agua Viva」、「Blood,Sea」、「Lacrimacorpus」の3シリーズの作品を発表した。
- ・ 関連事業：
ジャナイナ・チェッペ アーティストトーク
開催日：平成18年7月19日 会場：TWS 青山

4 コレクター岡田聡コレクション展

- ・ 展覧会名：マジカル・アート・ライフ展 あるコレクターの世界
- ・ 期間： 平成18年9月9日～10月1日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、アートアセファル
- ・ 観覧者数：1,135人
- ・ 内容：
精神科医、アートコレクターであり、アートプロデュース集団アートアセファルの代表を務める岡田聡氏のコレクションを展示する展覧会。アートのコレクションという行為について考えるきっかけをもたらすことを目的とした。約250点の作品によって展覧会場が埋め尽くされ、その独特の展示が話題を呼んだ。

5 エマニュエル・アンティル展

- ・ 期間： 平成18年10月7日～11月7日
- ・ 助成： スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団
- ・ 後援： スイス大使館
- ・ 協力： 銀座サクラヤ
- ・ 入場料： 500円
- ・ 観覧者数：462人
- ・ 内容：
スイスを代表する映像アーティスト、エマニュエル・アンティルによる日本における初めての個展。2003年ヴェネチア・ビエンナーレ、スイス館で発表後に制作された、3つの映像インスタレーションと、写真、長編映画からなる新シリーズ“Tornadoes of my heart”を発表。

6 オーストラリア・アート・シーン展

- ・ 展覧会名：Wave Front オーストラリア 現代アートの最前線-
- ・ 期間： 平成18年12月19日～平成19年2月17日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 助成： 国際交流基金
- ・ 後援： オーストラリア大使館

- ・ アーティスト： クレイグ・ウォルシュ、ショーン・グラドウェル、ダニエル・クルックス、
TVムーア、マイケル・ライリー
- ・ 入場料： 500円
- ・ 観覧者数：1,230人
- ・ 内容：
2006日豪交流年に際し、オーストラリアの現代アートの最前線を美術、音楽の両面から紹介。ショーン・グラドウェルとクレイグ・ウォルシュはTWS青山：クリエイター・イン・レジデンスに滞在し、制作を行った。
音楽イベントとしては、オーストラリアを代表する若手作曲家リザ・リム氏と、世界的に活躍する現代アンサンブルElision Ensembleからアーティストリック・ディレクターのダリル・バックリー氏を招聘。日本の若手音楽家たちに作曲や演奏解釈、演奏法を教授し、若手音楽家の育成を図った。また、ヴィジュアルアートとのコラボレーション作品を多く発表している音楽家のふたりのレクチャーは今後の若手アーティストにとっても多くの刺激を与える機会となった。
- ・ 関連事業
事業名：トーキョーワンダーサイト・ミュージック・アカデミー
～オーストラリアからLiza Lim & Daryl Buckleyを迎えて～
期間：平成19年2月15日～17日 会場：TWS青山

(詳細は、P.26)

7 デジタルアートフェスティバル東京2006

- ・ 期間： 平成18年12月1日～12月10日
- ・ 主催： デジタルアートフェスティバル実行委員会（NHK、株式会社NHKエンタープライズ）
- ・ 共催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 後援： 経済産業省、東京都港湾局、財団法人デジタルコンテンツ協会、(財)CG-ARTS協会
- ・ 協賛：
(株)松下電器産業、(株)NTTドコモ、(株)加賀電子、(株)凸版印刷、(株)マイクロソフト、(株)アドビシステムズ、(株)キリンビール、(株)NHKアート、(株)81プロデュース、(株)葵プロモーション、(株)太陽企画、(株)ティー・ワイ・オー、(株)東北新社、(株)レイノ(株)ティーシー・マックス、(株)デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、(株)博報堂
- ・ 協力：
パナソニックセンター東京、(株)デジタル・メディア・ラボ、オランダ王国大使館、(有)ディレクションズ、(株)吉本興業、(株)アスキー、(株)タカラトミー、学校法人岩崎学園、東京ベイ有明ワシントンホテル、臨海副都心まちづくり協議会、有明地区街づくり賑わい創出協議会
- ・ アーティスト： Edwin van der Heide & Marnix de Nijs、真珠子、AC部
- ・ 観覧者数：1,585人
- ・ 内容：
メディア・アートやアニメーションの若手作家を紹介するNHKのアートTV番組「デジスタ」の1年最後の総決算としての展覧会を有明のパナソニックセンターとトーキョーワンダーサイトで同時開催した。TWS渋谷では海外アーティストと日本の若手作家3組の「作家」に焦点を当て、

若手作家の紹介を行った。

- ・ 関連事業：TWS Friday night
- 開催日：平成18年12月8日
- 出演：Edwin van der Heide & Marnix de Nijs、真珠子、AC部

8 ワンダーシード2007

- ・ 期間：平成19年2月28日～3月18日
- ・ 主催：トーキョーワンダーサイト
- ・ 審査員：石原慎太郎 - 東京都知事
岡田聡 - アートアセファル
小山登美夫 - 小山登美夫ギャラリー
塩原将志 - アート・オフィス・シオバラ
今村有策 - トーキョーワンダーサイト館長、東京都参与
- ・ 観覧者数：1,474人
- ・ 内容：
若手芸術家の美術作品と、多くの美術愛好家が出会える場をつくることを目的に始まった小品の公募展で、今回で5回目の開催となる。審査員により選ばれた作品97点を展示した。展覧会場では、観覧者が作品購入可能で、作家支援のみならず、若い美術愛好家の育成も視野に入れている。今回から購入機会の拡大のため、オンラインのアート販売ショップ@Gallery TAGBOATでも入選作品の販売を行い、販売全点が完売となった。

9 西山 仁展

- ・ 展覧会名：TEAM 06 西山仁 “White out”
- ・ 期間：平成18年4月29日～6月9日
- ・ 主催：トーキョーワンダーサイト
- ・ 観覧者数：1,017人
- ・ 内容：
作家の作品展示・販売によるアーティスト支援を目的としたTEAM: Tokyo Wonder Site Emerging Artists on Mezzanineの一環事業。ある程度のキャリアを積んで注目度が高まり、今後のさらなるステップアップが期待されている若手アーティストのサポートを行っていく企画。本シリーズの6人目。

10 若手ギャラリスト展

- ・ 展覧会名：人はなぜ絵画を描くのか vol.1 ある青年のドローイングの軌跡
- ・ 期間：平成18年6月14日～6月28日
- ・ 協力：西山仁
- ・ 観覧者数：268人
- ・ 内容：
「人はなぜ絵画を描くのだろうか？」という問いから展開する、展覧会シリーズ第一弾。今回は心の病をかかえる青年が描き続けた絵画で会場を埋め尽くす展示が行われた。トークも行われ、や

やもすれば狭義のアートの領域に閉じこもり気味の現代アートに一石を投じるものとなった。

- ・ 関連イベント：トークセッション「人はなぜ絵画を描くのか」

開催日：平成18年6月24日

パネリスト：岡田聡、加藤泉、岩永忠すけ、今村有策

11 田崎悦子ジョイ・オブ・ミュージック in TWS

(1) プレコンサート・サロン 田崎悦子のやむなき冒険

- ・ 開催日：平成18年9月24日

・ 主催：トーキョーワンダーサイト

・ 会場：トーキョーワンダーサイト渋谷

・ ゲスト：池田卓夫、岡田聡

・ 料金：1,000円

・ 観覧者数：32人

・ 内容：

音楽愛好家と美術愛好家の間の架け橋への試みとして、トークと音楽のサロンのコンサート。

(2) 田崎悦子ピアノ大全集

- ・ 開催日：平成18年10月4日

・ 主催：トーキョーワンダーサイト、Joy of Music & co.

・ 会場：東京文化会館

・ 協力：コンサートイマジン

・ ピアノ提供：日本ピアノサービス株式会社

・ 観覧者数：208人

・ 料金：自由席5,000円、学生3,500円、ペア券9,000円

・ 内容：

若手音楽家育成事業の一環として、日本を代表するピアニストであり、教育者である田崎悦子氏を招き、コンサートを実施した。

12 Voice ~現代日本の作曲家に会う~

(1) VOICE 第1回目 現代日本の作曲家と会う 間宮芳生の音楽

- ・ 開催日：平成18年9月30日

・ 主催：トーキョーワンダーサイト、同時代音楽塾

・ 助成：朝日新聞文化財団、野村国際文化財団

・ 協力：原田敬子

・ 招待作曲家：間宮芳生

・ 対談出演：原田敬子、岡部真一郎

・ 若手作曲家：森下周子

・ 演奏：音坊主、首藤玲奈、津島裕子、吉川真澄

・ 入場料：一般2,500円、学生2,000円

・ 観覧者数：80人

- ・ 内容：
VOICEは、日本を代表する作曲家に焦点をあて、対談、プレゼンテーション、コンサートを行う総合ワークショップである。作曲家自身の声を伝えると共に、その作品を若手音楽家たちが演奏する。第1回目は招待作曲家に間宮芳生氏を迎え、間宮氏の歌の作品を取り上げたほか、関連作品として間宮氏と親交の深い作曲家であるジェルジ・クルタークの作品が演奏された。また、若手作曲家森下周子氏による新作も同時に発表された。

(2) VOICE 第2回目 現代日本の作曲家と出会う 湯浅譲二の音楽

- ・ 開催日： 平成19年2月19日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、同時代音楽塾
- ・ 助成： 野村国際文化財団
- ・ 協力： 原田敬子
- ・ 招待作曲家：湯浅譲二
- ・ 対談出演：沼野雄司
- ・ 若手作曲家：松本直祐樹
- ・ 演奏： 音坊主、内山詠美子、小松崎恭子
- ・ 入場料： 一般2,500円、学生2,000円
- ・ 観覧者数：96人
- ・ 内容：
第2回目は招待作曲家に湯浅譲二氏を迎え、湯浅氏の作品を取り上げたほか、関連作品として湯浅氏が影響を受けた作曲家であるエドガー・ヴァレーズの作品が演奏された。また、若手作曲家松本直祐樹氏による新作も発表された。

13 山根孝司クラリネットコンサート

- ・ 事業名： 山根孝司クラリネット・リサイタル “le troupeau de clarinette”
- ・ 開催日： 平成18年11月12日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 入場料： 一般3,000円、学生2,000円
- ・ 観覧者数：80人
- ・ 内容：
山根孝司氏はベルギーを中心にヨーロッパ各地で活躍し、帰国後はNHK交響楽団に在籍している現代日本を代表するクラリネット奏者である。山根氏が事前に録音した多重録音音源に生演奏を組み合わせ、2重奏から40重奏という大変意欲的で独創的なコンサートが行われた。また、録音はTWS青山のレジデンス施設内に設けたスタジオで行い、7月には公開録音も実施した。

14 Caravan

- ・ 期間： 平成18年4月14日～4月18日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、ARICA
- ・ 制作協力：カンバセーション
- ・ 出演： 安藤朋子、黒澤美香

- ・ 演出： 藤田康城
- ・ 入場料： 前売り4,000円、当日一般4,500円、学生、500円
- ・ 観覧者数：313人
- ・ 内容：

前衛的で独創的な舞台芸術活動を行っているシアター・カパニ-ARICAの第8回公演をトーキョーワンダーサイト渋谷で開催。安藤朋子と黒澤美香が共演し、既存のダンス・芝居の枠を越えたパフォーマンスを行った。稽古場としてTWS本郷を使用した。

15 a l'abordage Changing the Whale

- ・ 期間： 平成18年6月7日～6月9日
- ・ 主催： a l'abordage
- ・ 協力： トーキョーワンダーサイト、Patravadi Theatre、Green Papaya Art Projects、dots、法然院
- ・ 助成： デンマーク外務省、Gro Pederson Foundation
- ・ 観覧者数：53人
- ・ 内容：

平成17年アジア欧州基金主催、第3回アジア・ヨーロッパダンスフォーラム（於・東京）に参加したメンバーによるポスト・ワークショップ・プログラムで、世界各地を滞在しながら制作・発表を行う。メンバーも日本、タイ、ブラジル、デンマーク出身と、様々な文化的な背景を持ち、平成17年12月よりブラジル、サルバドールからタイ、フィリピン、日本を巡回。今回のTWS渋谷公演では、世界各地で公演してきた断片を再構築し、集大成として発表した。またTWS本郷を稽古場として提供し、彼らの滞在制作をサポートした。

16 その他

(1) 蜷川実花写真展

- ・ 期間： 平成18年11月10日～11月26日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、小山登美男ギャラリー、有限会社ラッキースター
- ・ 協賛：

CANON 株式会社、株式会社アルソアねむの樹トラスト、キヤノン株式会社、株式会社ルミネ、株式会社、富士フィルムイメージング、株式会社ミズノプリテック
- ・ 協力： 株式会社小学館
- ・ 観覧者数：5,236人
- ・ 内容：

蜷川実花氏は写真をベースに、映画・音楽・ファッションなどの分野とも活発な交流・活動を展開している。そこで、トーキョーワンダーサイトが推進する、さまざまな分野とのコラボレーションが広げる表現の可能性を体現する作家の一人として紹介する。

(2) ジャン・シャオガン展

- ・ 期間： 平成18年7月4日～7月14日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト

- ・ 協力： 東芝エンタテインメント株式会社、Hanart T Z Gallery
- ・ 観覧者数：651人
- ・ 内容：
ジャン・シャオガンはオークションで作品が中国絵画史上最高値で落札されるなど、世界からの注目を集めている中国の現代絵画シーンを牽引しているアーティストである。また話題の中国の最先端の現代アートに触れてもらう機会を提供した。

(3) Flying Steps Break Dance Workshop

- ・ 開催日： 平成18年7月9日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト
- ・ 協力： 東京ドイツ文化センター、<東京の夏>音楽祭2006
- ・ 観覧料： 参加者2,500円、見学者500円
- ・ 観覧者数：参加者11人、見学者4人
- ・ 内容：
Flying Stepsは数々の世界的なコンテストで優勝経験のあるブレイクダンス・グループであり、昨年度TWS渋谷で開催した「都市へアクション！ベルリン-東京」展のイベントにも参加している。アリオン音楽財団主催の<東京の夏>音楽祭2006への出演のための来日中にダンスのワークショップを開催。

(4) THE EAST/WEST PROPAGANDA PROJECT OBEY GIANT versus WK INTERACT

- ・ 期間： 平成19年3月22日～4月22日
- ・ 主催： トーキョーワンダーサイト、株式会社 アニエスパーサンライズ
- ・ 観覧者数：1,126人 3月31日までの観覧者数
- ・ 内容：
トーキョーワンダーサイトではこれまでストリートのアートシーンを積極的に取り上げ、それらを新しい文化として認識を広め深めるようなプロジェクトを開催してきた。今回は世界的に活躍する二人のストリートアーティスト、Shepard Fairey a.k.a OBEY GIANTとWK INTERACTを招聘し、TWS青山に滞在しながら、作品制作、展示を行った。また、渋谷開催にちなみ、渋谷周辺でもグラフィティは多数みかけられる表現手法のため、今回はアーティストックで質の高い作品を併設のカフェ kurage の店内への作品設置を行い、積極的にカフェ、周辺の環境との連携も図った。

トーキョーワンダーサイト青山（TWS青山：クリエイター・イン・レジ デンス）

TWS青山は、アートからデザイン、音楽など幅広い分野の国内外の新進・若手アーティストが、滞在、宿泊して、創造・制作活動に加え、出会いと交流を行う場として、平成18年11月7日にグランドオープンした。（平成18年6月よりパイロット・プログラムを実施）

1 二国間交流事業

東京都文化振興指針に掲げられた、創造的な文化を生み出す都市・東京を目指した新進・若手のアーティストの二国間交流を、平成18年度東京都重点事業として実施した。東京と海外との間で新進・若手アーティストを相互に派遣し合い、派遣先での作品の制作やアーティスト及びアート関係者との交流を通じて、アーティストのレベルアップを図るとともに、東京の芸術文化に対する国際的な理解と評価を高めていくことを目的とし実施した。

（1）日豪交流年プログラム

日本からの派遣（1名）

- ・ 派遣先： AWESOME International Arts Festival
- ・ 派遣期間：平成18年11月6日～12月3日
- ・ 派遣アーティスト：永岡大輔
- ・ 後援： フェスティバルへの後援（西オーストラリア州政府、パース市、Lotterywest 他）
- ・ 内容：

オーストラリアのパースにあるNPO団体AWESOME Arts Australia Ltd.へのアーティストの派遣プログラムを実施。日本からは、TWS開館当初より若手作家として様々なプロジェクトに参加してきた永岡大輔氏を派遣。現地の小学校では映像のワークショップを開催した。現地にて大きな話題となり、若手アーティストの海外への進出に寄与する意義深い海外派遣となった。

平成19年1月8日～1月21日、TWS本郷にて永岡氏による帰国報告展および報告会を開催。

日本への受け入れ（美術：3名、音楽：2名）

<美術>

- ・ 滞在期間： ショーン・グラッドウェル：平成18年11月20日～12月28日
クレイグ・ウォルシュ：平成18年7月19日～7月20日、平成18年12月10日～12月22日
ダニエル・クルックス：平成18年11月26日～11月30日
- ・ 滞在目的： 展覧会「Wave Front オーストラリア現代アートの最前線-」をTWS渋谷で開催

（詳細は、P.9）

<音楽>

- ・ 滞在期間：平成19年2月14日～2月17日
- ・ 滞在アーティスト：リザ・リム、ダリル・バックリー
- ・ ワークショップ：トーキョーワンダーサイトミュージックアカデミーをTWS青山で開催

（詳細は、P.26）

・ 内容：

「日豪交流年2006」として日本とオーストラリアで様々な交流イベントが開催された年、ヴィジュアル・アートと現代音楽の両面より、オーストラリアの現代アートの最前線を紹介。若手ヴィジュアル・アーティストは、「都市とアート」そして「東京」をテーマとし、東京での新たな作品の制作。また、世界的に活躍する現代音楽アンサンブルElision Ensembleから、作曲家リザ・リム氏と、アーティストック・ディレクターのダリル・バックリー氏を招聘し、日本の若手音楽家たちに作曲や演奏解釈、演奏法を教え実践することにより、若手音楽家の育成を図り、日本で学ぶ場の少ない現代音楽を習得する貴重な機会となった。

(2) 日韓交流

日本からの派遣(1名)

- ・ 派遣先： サムジ-アートスペース
- ・ 派遣期間： 平成18年10月15日～12月29日
- ・ 派遣アーティスト： 大巻伸嗣

日本への受け入れ(1名)

- ・ 受入期間： 平成18年10月18日～12月28日
- ・ 受入アーティスト： ジンラン・キム
- ・ 目的： オープンスタジオ「イクサイズ インフューティリティ」を開催
- ・ 開催期間： 平成18年12月13日～22日
- ・ 観覧者数： 105人
- ・ 協力： 株式会社資生堂
- ・ 内容：

TWS 青山のプレオープン企画として、アジアの中でも最も活発に活動しているオルタナティブ・スペースである韓国のサムジスペースと、交換プログラムを実施。日本からは、トーキョーワンダーウォールの受賞者でもある大巻伸嗣氏が韓国で滞在制作を行った。一方、韓国とベルリンをベースに活動しているアーティスト、ジンラン・キムがTWS 青山で、過去7年間にドイツ、イギリス、韓国、フランスにおいてシリーズで展開してきた作品を発表、首都大学の学生のスタジオ訪問をはじめ、滞在中、様々な交流が行われた。またオープンスタジオも行った。平成19年1月21日、TWS 本郷にて大巻氏による帰国報告会を開催。

2 協働スタジオプログラム

東京都文化振興指針に掲げられた協働スタジオプログラム事業を、平成18年度 東京都重点事業として実施した。将来の逸材の発掘、育成を図ることを目的として、第一線で活躍するアーティストを講師に迎え、様々な芸術系分野の学生を国内外から集め、作品の共同制作やレクチャー等を通じて、最新のアート技法を習得させるとともに、参加者の相互理解を図った

- ・ 事業名： 協働スタジオプログラム事業 若手交流ワークショップ + hand
- ・ 期間： 平成19年3月24日～3月31日(一般公開は3月30日～31日)
- ・ 観覧者数： 66人
- ・ 講師： ニコレッタ・モロッチェ(デザイナー、ミラノ工科大学教授 / イタリア)

ロドリゴ・マレア・リラ（キュレーター、アーティスト、テレンスクンストハル・ディレクター / スウェーデン）

リー・ダラブー（キュレーター、アートディレクター / カンボジア）

家村佳代子（建築家、TWSプログラム・ディレクター）

太郎千恵藏（美術家、多摩美術大学講師）

長田謙一（首都大学東京教授）

- ・ 参加者： キム・シヨン（韓国）（サムジースペース推薦）
オウ・ヤンチュン（中国）ユン・チェガブ（アラリオ・ベイジン ディレクター推薦）
デニス・ボナパス（イタリア）デザイナー（ニコレッタ・モロッティ推薦）
リナス・エルメス（スウェーデン）キュレーター（ロドリゴ・マレア・リラ推薦）
タン・ソク（カンボジア）アーティスト（リー・ダラブー推薦）
日本人10人（アーティスト、デザイナー、建築家）
- ・ 滞在者： ニコレッタ・モロッティ、ロドリゴ・マレア・リラ、リー・ダラブー、キム・シヨン、
オウ・ヤンチュン、ユン・チェガブ、デニス・ボナパス、リナス・エルメス、
タン・ソク、阪田清子
- ・ 滞在期間： 平成19年3月24日～3月30日
- ・ 協力： 長田謙一（首都大学東京教授）
- ・ 内容：

デザイン、アート、リサーチ、世界で活躍する各分野のエキスパートをチューターに迎え、国内外から若手クリエイター及びデザイン・美術専攻の学生を招き、5つのチームを編成。日本からはトーキョーワンダーサイトが推薦するアーティスト、デザイン・美術系・建築系学生らが10名参加。チューターの課題に向けてのプレゼンテーションから始まり、チーム毎に東京の街のリサーチ及びワークショップでの制作を協働で実施。連日チューターから指導を受け、最終日には、公開プレゼンテーションを行った。世界のクリエイションの第一線で活躍する講師陣によるプレゼンテーションとこれからのアート・デザイン界を担っていくであろう、若手クリエイター達が提案する“東京”を、様々な違いの中、クリエイティブにコミュニケーションを進める中で、スタジオ形式で発表できた意義は大きい。

3 滞在・交流拠点事業

東京都文化振興指針では、平成18年度 東京都重点事業として、アートヴィレッジIN東京（仮称）の開設が掲げられた。才能あふれる国内外の新進・若手アーティストが集い、おう盛な創造活動に取り組む拠点を整備し、アーティスト及びアート関係者の滞在・交流・制作拠点の整備を目的とする。

（1）光州ビエンナーレ参加レジデンス

- ・ 滞在期間： 平成18年6月26日～7月7日
- ・ 滞在アーティスト： ヨ・スプ、ノ・ジェウン、パク・チャンキョン
- ・ 滞在目的： 光州ビエンナーレ参加アーティスト制作支援&アーティスト・トークを開催
- ・ 開催日： 平成18年7月2日
- ・ 観覧者数： 20人
- ・ 内容：

第6回光州ビエンナーレ（平成18年9月8日～11月11日）に出品する作品制作のため、韓国のアーティスト・グループJNPの3名が、作品制作のために来日。このプロジェクトはJNPが上海のビズ・アート、韓国のインサ・アートセンター、そして日本ではトーキョーワンダーサイトの3つのオルタナティブスペースにて滞在制作が行われた。

（2）IASPIS「クラフト・イン・ダイアログ」プログラム

- ・ 展覧会名：スケッチ・ファニチャー・バイ・フロント（オープンスタジオ）
- ・ 実施時期：平成18年10月31日～11月5日
- ・ 協力：株式会社クレッセント、Barry Friedman Gallery 後援：IASPIS、スウェーデン大使館
- ・ 観覧者数：986人
- ・ 内容：
スウェーデンの政府文化機関「IASPIS（イアスピス）」の現代工芸部門、Craft in Dialogueとの交流プログラムの派生プログラムとして、スウェーデン人女性4名のデザインユニット、フロントを招聘。東京での滞在、制作、交流を行った。デザインタイド、トーキョーデザイナーズウィークに合わせてオープンスタジオが行われ、多くの来館者が訪れた。

（3）シンポジウム

東京都初のレジデンス施設であるTWS青山の公式オープンを記念して、リレー形式のシンポジウムを開催。国内外で活躍するディレクターやクリエイターを招き、トーキョーワンダーサイトの活動、及び、レジデンスの今後の方向性について、活発な意見交換を行った。

レジデンスオープニング記念リレー会議

- ・ 滞在者：ミヒャエル・ヘルター（Res Artis 創始者）
- ・ 滞在期間：平成18年12月8日～12月12日
- ・ 開催日：平成18年12月10日
- ・ 参加者：20人
- ・ 内容：
第1回は、世界を代表するアーティスト・イン・レジデンス「クンストラ・ハウス・ベターニエン」（ベルリン）の創設者であり、レジデンスの世界的ネットワークRes Artisの創始者でもあるミヒャエル・ヘルター氏を招き、活発な意見交換が行われた。この内容は、第2回のリレー会議に引き継がれた。

レジデンスオープニング記念リレー会議

- ・ 滞在者：キム・ホンヒ（ディレクター）、ヒュンジン・シー（キュレーター）
- ・ 滞在期間：平成19年3月8日～3月11日
- ・ 開催日：平成18年3月9日
- ・ 参加者：46人
- ・ 内容：
第2回目は、すでに現代韓国アートシーンの中心的存在として活動するソウルのオルタナティブ

スペース「サムジー・スペース」のディレクターであり、光州ビエンナーレのアーティストック・ディレクターを務めたキム・ホンヒ氏を招き、自身のこれまでの活動を紹介いただくとともに、レジデンスを積極的に利用した若手交流プログラムを進めるサムジー・スペースの活動の話をつまえながら、今後のアジアのアートの発展を目指した交流プログラムやアーティスト・イン・レジデンスのあり方を紹介。

レジデンスオープニング記念リレー会議

- ・ 滞在者：ダニー・ユン（プロデューサー）
- ・ 滞在期間：平成19年3月15日～3月20日
- ・ 開催日：平成19年3月17日
- ・ 参加者：24人
- ・ 内容：
第3回は、香港をベースに数々の舞台芸術の監督やプロデュースをこなし、パワフルな活動で香港のアートシーンをリードするかわら、香港政庁に大きな影響を与え、95年に香港芸術發展局が設立されるきっかけともなった「文化行政研究グループ・プロジェクト」を始めるなど、国際交流も踏まえたアート教育プログラムを実践するダニー・ユン氏を迎え、会議ではユン氏のこれまでの活動内容を伺いながら、文化を発信するハブとしての「クリエイター・イン・レジデンス」のあり方など、アジアにおける文化活動の戦略を総合的に進めていく方法について意見交換を実施。

(4) レジデンス

平成18年6月からパイロットプログラムによる受入を開始。11月7日のグランドオープンにより、本格的に始動した。レジデンス滞在者による制作活動、及び、アーティスト・トークを実施。

- ・ 滞在者数 63人（二国間交流事業、協働スタジオプログラムによる滞在者を含む）
- ・ アーティストトーク（開催数：11回、参加人数：489人）

1.

- ・ 滞在者名：マリア・ホセ・マコーラ（メキシコ）美術
アレ・ドラ・プエンテ（メキシコ）美術
- ・ 滞在期間：平成18年6月3日～平成18年6月7日
- ・ 滞在目的：展覧会「Inner Geographies/ Crossing Paths: Japan through 5 Mexican Women寝よ
り髪」展
日時：平成18年6月6日～7月2日 会場：TWS本郷

（詳細は、P.6）

2.

- ・ 滞在者名：デニス・パトコヴィッチ（ドイツ）アコーディオン奏者
- ・ 滞在期間：平成18年6月4日～6月7日
- ・ 滞在目的：コンサート

デニス・パトコヴィチ アコーディオンリサイタル

日時：平成18年6月11日（日）15:00～ 会場：TWS本郷

（詳細は、P.4）

3 .

・ 滞在者名：ジャナイナ・チェッペ（ドイツ）美術

・ 滞在期間：平成18年7月7日～7月21日

・ 滞在目的：展覧会、アーティストトーク

ジャナイナ・チェッペ+ジェルマーノ・チェラント アーティスト・トーク

日時：平成18年7月19日（水）16:00～

観覧者数：28人

4 .

・ 滞在者名：ジェルマーノ・チェラント（イタリア）グッゲンハイム美術館キュレーター

・ 滞在期間：平成18年7月17日～7月23日

・ 滞在目的：レクチャー

ジェルマーノ・チェラント レクチャー 「Arts and Architecture 1900-2004」

日時：平成18年7月21日（金）19:00～

主催：トーキョーワンダーサイト

参加者：45人

内容：

Janaina Tschape展の展覧会開催に合わせてレクチャーを実施、世界の現代美術の最先端の流れを日本の聴衆に発信した。

5 .

・ 滞在者名：サリーナ・タン（米国）

・ 滞在期間：平成18年7月15日～7月20日

・ 滞在目的：展覧会

ジャン・シャオガン展

日時：平成18年7月4日～7月14日 会場：TWS渋谷

（詳細は、P.14）

6 .

・ 滞在者名：アリソン・キャロル（オーストラリア）Asia Linkディレクター

・ 滞在期間：平成18年7月19日～7月24日

・ 滞在目的：日豪交流年における日本のアートシーンのリサーチ調査

7 .

・ 滞在者名：クレイグ・ウォルシュ（オーストラリア）Wave Front出展アーティスト

・ 滞在期間：平成18年7月19日～7月20日

- ・ 滞在目的： 展覧会
Wave Front -オーストラリア 現代アートの最前線
日時：平成 18 年 12 月 20 日～平成 19 年 2 月 17 日 会場：TWS 渋谷

(詳細は、P.9)

8 .

- ・ 滞在者名： 山根孝司 (日本) クラリネット奏者
- ・ 協力： 野中正行 (日本) 響き工芸
- ・ 施設 (仮設録音スタジオ) 使用期間：
平成 18 年 7 月 23 日・24 日、8 月 22 日・23 日・24 日、9 月 26 日、27 日、10 月 10 日

- ・ 滞在目的： コンサート
山根孝司 クラリネット・リサイタル 公開音源録音
日時：平成 18 年 7 月 23 日 11:00～13:00
会場：TWS 青山：クリエイター・イン・レジデンス

山根孝司 クラリネット・リサイタル “le troupeau de clarinette”
日時：平成 18 年 11 月 12 日 17:00～
会場：TWS 渋谷

(詳細は、P.13)

9 .

- ・ 滞在者名： アンドレア・ブランジ (イタリア) デザイナー
ニコレッタ・ブランジ (イタリア) プランナー
オルソラ・ブランジ (イタリア) ミュージシャン
ディノ (イタリア) DJ
ロレンツァ・ブランジ (イタリア) クリエーター
- ・ 滞在期間： 平成18年8月17日～8月25日
- ・ 滞在目的： レクチャー
タイトル：パーティ・レクチャー
Party Lecture featuring Andrea & Nicoletta Branzi Family
日時：平成 18 年 8 月 24 日 20:30～
協力：株式会社良品計画、株式会社キチン
参加者：96 人

10 .

- ・ 滞在者名： リューベン・キーハン (オーストラリア) キュレーター
- ・ 滞在期間： 平成18年9月12日～9月19日
- ・ 滞在目的： 日本現代アート及びレジデンスのリサーチ

1 1 .

- ・ 滞在者名：エマニュエル・アンティル（スイス）
マーク・ゴーリング（テクニカルアシスタント）（スイス）
- ・ 滞在期間：平成18年10月3日～10月16日
- ・ 滞在目的：展覧会
エマニュエル・アンティル “Tornadoes of My Heart”
日時：平成 18 年 10 月 11 日 19:00～ 会場：T W S 渋谷

（詳細は、P.9）

1 2 .

- ・ 滞在者名：パトリシア・プルズ（オランダ）オランダロッテルダム市 シティーキュレーター
- ・ 滞在期間：平成18年10月26日～11月18日
- ・ 滞在目的：
Patricia Pulles CURATOR TALK
日時：平成 18 年 11 月 17 日 19:00～20:00
協力：オランダ大使館
参加者：18人
内容：オランダのアートの展覧会「Project Rotterdam」などを事例にオランダのアートの現状について語った。

1 3 .

- ・ 滞在者名：フレデリック・ロイジェ（オランダ）デザイナー
ジョス・クラヘン（オランダ）デザイナー
マーティン・バプティスト（オランダ）デザイナー
キキ・ヴァン・エイク（オランダ）デザイナー
ジョースト・ヴァン・ブレイスニク（オランダ）デザイナー
- ・ 滞在期間：平成18年10月29日～11月9日
- ・ 滞在目的：デザインタイドに参加、展示／日本のデザイン関係者との交流及びリサーチ
ダッチ スクール デザイナーズ フロム アイントホーウェン アーティスト・トーク
日時：平成 18 年 11 月 3 日 15:00～16:30
後援：オランダ王国大使館、モンドリアン・ファウンデーション
協力：T r i c o、日本通運
参加者：23人
内容：オランダのデザイン・アカデミー・アイントホーフェン出身の若手デザイナーが、彼らにとってのデザイン、その制作現場について語った。

1 4 .

- ・ 滞在者名：原久子（日本）キュレーター
- ・ 滞在期間：平成18年11月1日～11月2日
- ・ 滞在目的：IASPIS「クラフト・イン・ダイアローグ」との交流プログラムとして来日したデザイン

チーム「FRONT」のプロジェクトへ参加

15.

- ・ 滞在者名：ダニエル・クルックス（オーストラリア）
- ・ 滞在期間：平成18年11月26日～11月29日
- ・ 滞在目的：展覧会のプレイベントに参加
タイトル：「Wave Front - オーストラリア現代アートの最前線-プレイベント」
日時：平成 18 年 11 月 28 日 19:00～
助成：国際交流基金
後援：オーストラリア大使館
協力：大阪電気通信大学
参加者：20人
内容：「Wave Front - オーストラリア現代アートの最前線-プレイベント」展に先駆けて、アーティストトークを開催し、自身の作品について語った。

16.

- ・ 滞在者名：アスタッド・デボー（インド）
加藤訓子（日本）
シャウーリユー・リオー（中国）
- ・ 滞在期間：平成18年11月21日～11月29日
- ・ 滞在目的：アジア舞台芸術祭2006参加プロジェクト<伝統と未来>協力事業として、舞台稽古のための場所（TWS本郷）と、レジテンス（TWS青山）を提供。

17.

- ・ 滞在者名：ショーン・グラッドウェル（オーストラリア）「Wave Front-オーストラリア現代アートの最前線-」出展アーティスト
ゴウタロウ（日本）撮影
- ・ 滞在期間：平成18年11月20日～12月28日
- ・ 滞在目的：展覧会のための東京での新作制作、交流
「Wave Front - オーストラリア現代アートの最前線」
日時：平成 18 年 12 月 20 日～平成 19 年 2 月 17 日
会場：TWS渋谷
助成：国際交流基金
後援：オーストラリア大使館

18.

- ・ 滞在者名：エドウィン・ヴァン・デル・ハイド（オランダ）
マルニクス・デ・ニグス（オランダ）
- ・ 滞在期間：平成18年11月26日～12月13日
- ・ 滞在目的：展覧会「デジタルアートフェスティバル東京2006」

日時：平成 18 年 12 月 1 日～12 月 10 日 会場：TWS 渋谷

(詳細は、P.10)

19 .

- ・ 滞在者： ボリス・ミハイロフ夫妻（ウクライナ）写真家
- ・ 滞在期間：平成18年12月4日～平成19年1月31日
- ・ 滞在目的：東京の街のリサーチ及び撮影
タイトル：ボリス・ミハイロフ アーティスト・トーク
日時：平成 19 年 1 月 13 日 16:00～18:00
協力：シュウゴアーツ、キャノン株式会社
参加者：56 人
内容：若手アーティストのみならず、シニアのアーティスト受入を行った。世界的に著名なボリス・ミハイロフを招聘し、滞在・制作を行った。アーティスト・トークにおいては、これまでの作品紹介や、東京での滞在制作をとおして、何に
出会い、感じたかについて語った。

20 .

- ・ 滞在者： オラフ・ブルーニング（スイス）写真家
- ・ 滞在期間：平成19年1月13日～1月29日
- ・ 滞在目的：日本の食料サンプルを使った新作制作
オラフ・ブルーニング アーティスト・トーク
日時：平成 19 年 1 月 20 日 15:00～17:00
協力：森美術館、Kodama Gallery、M・P・クォーズ・ギャラリー、ニューヨーク
参加者：25 人
内容：東京で開催される展覧会に先駆けてアーティスト・トークを開催、自身の作品
について語った。

21 .

- ・ 滞在者： 竹之内博明（日本）音楽家
太田真紀（日本）音楽家
- ・ 滞在期間：平成19年1月24日～1月29日
- ・ 滞在目的：コンサート「21世紀を担う新鋭たちの響き」
日時：平成 19 年 1 月 26 日～1 月 28 日 会場：TWS 本郷

(詳細は、P.5)

22 .

- ・ 滞在者： リザ・リム（オーストラリア）
ダリル・バックリー（オーストラリア）
- ・ 滞在期間：平成19年2月14日～2月18日
- ・ 滞在目的：コンサート、ワークショップ

トーキョーワンダーサイト・ミュージック・アカデミー「オーストラリアから Liza Lim & Daryl Buckley を迎えて」

日時：平成 19 年 2 月 15 日、16 日 公開レッスン、プレゼンテーション

平成 19 年 2 月 17 日 レクチャー、コンサート

主催：トーキョーワンダーサイト

助成：国際交流基金

後援：オーストラリア大使館

協力：同時代音楽塾 + CMA projects

講師：リザ・リム、ダリル・バックリー

受講料：演奏・作曲コース受講 4,000円

聴講料：公開レッスン聴講 500円、プレゼンテーション聴講 500円

レクチャー&コンサート入場料：1,000円

参加者：55 人

23 .

・ 滞在者： 西野達（日本）ドイツ滞在アーティスト

・ 滞在期間：平成19年2月14日～3月19日

・ 滞在目的：新作のための東京の街のリサーチ及び制作

タイトル：西野達 アーティスト・トーク

日時：平成 19 年 3 月 3 日 15 : 00 ~ 17 : 00

協力：森美術館

参加者：64 人

内容：観客が日々触れる日常の見方を大胆に変えるインスタレーションを発表してきた西野達氏が自身の作品について語った。

24 .

・ 滞在者： Shepard Fairey a.k.a OBEY GIANT（アメリカ）グラフィティアーティスト
WK INTERACT（フランス）グラフィティアーティスト

・ 滞在期間：平成19年3月12日～3月25日

・ 滞在目的：展覧会「THE EAST/WEST PROPAGANDA PROJECT OBEY GIANT vs. WK INTERACT展」

日時：平成 19 年 3 月 22 日～4 月 22 日 会場：TWS 渋谷

（詳細は、P.15）

（5） その他

キュレーター・トーク「Louise De'ry CURATOR TALK」

日時：平成 18 年 9 月 27 日 19:00～20:00

主催：トーキョーワンダーサイト、カナダ大使館

キュレーター：ルイズ・デリ（カナダ）

参加者：27 人

内容：ヴェネチア・ビエンナーレのカナダ・パビリオンの構想やコンセプト、出展アーティ

ストについて語った。

ディレクターズ・トーク「Lex ter Braak DIRECTORS TALK」

日時： 平成 18 年 10 月 18 日 19:00～20:00

協力： オランダ大使館、Fonds BKVB

ディレクター： レクス・ター・ブラーク（オランダ）オランダのBKVB財団ディレクター

参加者： 33 人

内容： BKVB 財団の活動やポリシーなどについて語った

「中国のアート・シーン」 第6回上海ビエンナーレ、第2回北京建築ビエンナーレの報告会

日時： 平成 18 年 11 月 22 日 19:00～21:00

企画・協力： ギャラリーQ

パネリスト： 上田雄三（日本）、牧陽一（日本）、栗山明（日本）、伊丹潤（日本）、祐成正徳（日本）

参加者： 54 人

内容： 国際的に注目されつつある中国のアートシーンについて具体的な事例（上海、北京の両ビエンナーレ）を紹介。普段触れることが少ない中国の現在の文化状況について情報交換でき、各国のアーティスト、文化関係者の活動を身近な距離で観客に伝え、意見交換の機会とした。